

桐蔭学園幼稚部 2019年度 vol.10

アフタースクールだより

<お知らせ>

●2月14日(金)は短縮保育です。アフタースクールにお申込みの際は退室時刻にご注意ください。
 ※アフタースクールのスケジュールについては、おたより裏面もしくはホームページの「毎月の予定表」をご覧ください。
<http://toin.ac.jp/ek-as/>

★2月のスペシャルプログラムのご紹介★

幼小合同

2/4
(火)

みんな集まれ!
昔遊びDAY



2/4(火)16:30までご利用のお子さまは無料で参加できます。小学部のお兄さん・お姉さんと一緒に、コマやけん玉で遊ぼう♪毎回盛り上がっています☆

●時間15:30～16:30 ●定員：30名
 ●参加料無料 ●持ち物：なし
 ●講師：中村 茂樹 先生

2/5
(水)

モコモコふわふわ
羊毛を使って遊ぼう



羊毛フェルト作家の山西先生にお越しいただき、羊毛フェルトを使って遊びます。羊毛の毛糸をくるくる巻き巻き。ふわふわの手触りを楽しみましょう♪

●時間14:45～16:00 ●定員：12名
 ●参加料1,000円、材料費1,000円
 ●持ち物：なし ●講師：山西 智子 先生

2/12
(水)

みんなで遊ぼう
とっておきの日



お友だちと賑やかに遊ぶのが大好きな子どもたち。みんなで楽しめる企画をご用意しました。パラバルーンやわらべ歌などのふれあい遊びを通し、もっと仲良くなっちゃおう!

●時間14:45～16:00 ●定員：なし
 ●参加料無料 ●持ち物：なし
 ●講師：アフタースクールスタッフ

2/17
(月)

大人気!
プラレールDAY



みんなでプラレール遊びをしよう♪電車が大好きなお友だちが集まり、鉄道クイズをしたり、電車の絵を描いたりもしています。レールと電車をいっぱい用意して待っているよ。

●時間14:45～16:00 定員：20名
 ●参加料無料 ●持ち物：なし
 ●講師：アフタースクールスタッフ

2/18
(火)

LaQシリーズ
ミニドラッグ
レーサー



きみのLaQが動き出す!タイヤがついており、作った後は走らせて遊ぶことができます。作品は持ち帰れるので、おうちでも遊べるよ。

●時間14:45～16:00 ●定員：12名
 ●参加料1,000円、材料費680円
 ●持ち物：なし ●講師：浅川 直樹 先生

2/18
(火)

想像力を広げよう
おはなし



16:30までご利用のお子さまは、無料でおはなし会に参加できます。絵本・素話・紙芝居・歌遊び…何が始まるかはその日のお楽しみ♪

●時間16:00～16:30 ●定員：なし
 ●参加料無料 ●持ち物：なし
 ●講師：小阪 真理子 先生

2/19
(水)

お料理プログラム
マーブルケーキ
フルーツ添え



ながた先生のお料理プログラム。チョコレート味とプレーン味の生地をミックスしたマーブルケーキを作ります!

※アレルギーがある方ご注意ください。

●時間14:45～16:00 ●定員：20名
 ●参加料1,500円 ●持ち物：なし
 ●講師：ながた よしえ 先生

2/21
(金)

響きを感じて
和太鼓を
楽しもう♪



前回みんながとても楽しそうだったTsubo先生の和太鼓プログラム。いろいろな太鼓の音の違いを楽しんだり、一体感を感じたりできます!

●時間14:45～16:00 ●定員：15名
 ●参加料1,000円 ●持ち物：なし
 ●講師：リズム和太鼓教室Tsubo先生

2/25
(火)

ポーセラーツ
ひなまつり角皿



角皿をポーセラーツでひなまつりバージョンに彩ります。3月のひなまつりに向けて、素敵なお皿を作ろう。

※作品は焼成して後日お子様にお渡しいたします。

●時間14:45～16:00 ●定員：8名
 ●参加料1,250円 材料費700円
 ●持ち物：ハンドタオル ●講師：花岡 先生

2/26
(水)

小学部ASと一緒に
おもちゃDAY



小学部アフタースクールのお友だちと一緒に、プラレールやシルバニアファミリーなどを使って遊びます。

※プログラムを途中で抜けて、16:30で降園することも可能です。

●時間16:00～17:15 ●定員：30人
 ●参加料無料 ●持ち物：なし
 ●講師：アフタースクールスタッフ

2/28
(金)

サムライになろう
スポーツ
チャンバラ



護身術とチャンバラごっこをもとにして生まれた「スポーツチャンバラ」。毎回たくさん体を使い、盛り上がっています。

●時間14:45～16:00 ●定員：15名
 ●参加料1,000円 ●持ち物：体操服
 ●講師：伊藤 紀也 先生

お申し込み方法

【対象の方】桐蔭学園幼稚部アフタースクール入会者様
 【申込開始日時】1月23日(木)19時から
 ※定員に達した場合、キャンセル待ちとなります。
 【申込締切日時】プログラム実施前開校日17時まで
 【申込方法】会員サイトよりお申し込みください。
<https://kids-ai.com/toinP/public/login>

※スペシャルプログラムのお申し込みにはレギュラーもしくはスポット予約が必要です。
 事前に預りの予約をお済ませのうえ、スペシャルプログラムのお申し込みをお願いいたします。
 ※会員サイトログイン後、「スペシャルPG申込」よりお申し込みください。
 ※おやつ提供をご希望の方は、ご予約の際、退室時刻を「14:30」以降に設定してください。

■右のコードを読み込んでいただくとスマートフォンからお申し込みできます。



※料金は全て税抜きとなります。
 ※参加料とは別に預かり利用料・おやつ代(14時前に退室の方はかかりません)がかかります。
 ※キャンセル・変更の場合は、必ず前開校日17時までにメールにてご連絡ください。
 キャンセルの場合でもスペシャルプログラム参加料等を頂戴いたします。
 ただし、預かりを利用されない場合は、預かり利用料・おやつ代はかかりません。

<お問い合わせ先>

桐蔭学園幼稚部アフタースクール

☎ 070-6406-0217 (平日10:30～19:00)

✉ toin_kd@npoafterschool.org

プログラムの様子をご紹介します!

[BLOG] <http://toin.ac.jp/ek-as/ele-as/>

	行事	開校日	定期プログラム	スペシャルプログラム
1	土			
2	日			
3	月			
4	火			
5	水			
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月			
11	火			
12	水			
13	木			
14	金			
15	土			
16	日			
17	月			
18	火			
19	水			
20	木			
21	金			
22	土			
23	日			
24	月			
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			

※スケジュールは予定です。変更になることがあります。



～1月の子どもたちのようす～



【お昼ごはん】
冬休みの思い出話に花が咲きました♪



【自由遊び】
LaQで忍者を作ったよ！難しい立体モデル、かっこいいね！



【子ども先生】
みんなの前で先生になって、手遊びをしてくれます。



【定期プログラム・アート】
色々な道具を使って、カラーシートに色づけしました！



【定期プログラム・料理】
今月はフォーチュンクッキーを作りました♪



【SP・お正月遊び大会】
かるたや羽つきなどのチャンピオンを決めました！

ご協力をお願い ～工作用廃材を集めています～

アフタースクールの子どもたちは工作が大好き！
空き箱や食品トレーを工夫して使い、船を作ったりカバンを作ったり…。豊かな想像力を働かせて楽しんでいます。

この自由で創造的な遊びをより充実させたいという思いから、保護者の皆様にも材料提供のご協力をお願いできればと思っております。もしご家庭で不要なものがございましたら、ご寄付いただけますと幸いです。お迎え時や、ご来園の機会にお持ちください。どうぞよろしくお願いいたします。

◆ご提供いただきたいもの

空き箱（30cm四方まで）、牛乳パック、食品トレー、カップ、毛糸やリボン、端切れ等
※食品トレー等食品が直接入っていたものは、必ず洗剤で洗い乾かしてからご持参いただきますよう、ご協力お願い申し上げます。

◆集め方

アフタースクール開室時間内に、アフタースクールスタッフに直接お渡しください。登園時の安全を守るため、お子様が持参されることはご遠慮ください。



アフタースクール こぼればなし

～陰から子どもたちを支える方とのかかわりを通して～

冬休み明けのある暖かな放課後。子どもたちは園庭で夢中になってサッカーをして遊んでいました。小さなサッカーゴールめがけてキックを決め、自分たちなりに細かくルールを作って遊んでいる姿に成長を感じていると、園庭の外にボールがコロコロ…。

転がった先で作業をされていた職員さんにボールを拾っていただきました。年明けなので「あけましておめでとうございます。（拾ってもらって）ありがとうございます！」と子どもたちが元気にあいさつをしたところ、職員さんはとても喜んでくださいました。そして、園庭の入り口にある切り株を示して「みんなが危なくないようにきっておいたからね。」と教えてくれました。みんなでその場所を確認し、改めて職員さんにお礼を言ったのでした。

安全に子どもたちが過ごせるよう、見えないところで色々な方が動いてくださっています。そのことを知り、感謝の気持ちをすぐに伝えることができる子どもたちの姿を見て、なんだか心温まる瞬間でした。